

# 2014年度 NGO・外務省定期協議会

## 2013年度 草の根・人間の安全保障無償 資金協力フォローアップ調査事業報告

公益財団法人プラン・ジャパン

事務局長：佐藤 活朗

経営企画室 室長：番場 慎也

2014年6月27日（金）



# 草の根・人間の安全保障無償資金協力 フォローアップ調査事業@ペルー共和国

現地視察日程 概略 2月14日～27日

|               |                                                     |
|---------------|-----------------------------------------------------|
| 14日(金)        | 成田近辺前泊                                              |
| 15日(土)        | 成田発、16日リマ着                                          |
| 16日(日)        | MTG                                                 |
| 17日(月)        | 大使館にてMTG及び契約<br>案件①サン・バルトロメ母子国立病院医療用ベッド<br>整備プロジェクト |
| 18日(火)        | 案件②アルシデス・サロモン・ソリーリャ職業訓練施設<br>機材整備プロジェクト、ピウラへ移動      |
| 19日(水)        | 案件③ピウラ州アルガロビナ加工機材整備プロジェクト<br>(一村一品支援)               |
| 20日(木)        | 案件④ラグナス集落小学校整備プロジェクト                                |
| 21日(金)        | 案件⑤マタンサ小学校整備プロジェクト、リマへ移動                            |
| 22日(土)、23日(日) | MTG及び報告書作成等                                         |
| 24日(月)        | プラン・ペルー国統括事務所にてMTG及びペンタ<br>ニージャ地区3案件視察              |
| 25日(火)        | 教育省・通商観光省・保健省にてヒアリング、大使館<br>にてMTG、リマ発               |
| 27日(木)        | 成田着                                                 |



## 案件①サン・バルトロメ母子国立病院医療用ベッド整備

|          |                                                                                           |
|----------|-------------------------------------------------------------------------------------------|
| 被供与団体名   | ケア・ペルー                                                                                    |
| 供与額      | 111,235米ドル(9,899,915円)                                                                    |
| 贈与契約締結日  | 2012年3月28日                                                                                |
| 完了報告書提出日 | 未提出                                                                                       |
| 案件内容     | リマ市中心部に位置する国立母子専門病院の産科病棟で使用されている、老朽化しサイズも不適格な医療用ベッドを更新することにより、医療サービスの質を向上させ住民の医療事環境を改善する。 |
| 裨益効果     | 当院を利用する年間約 30,000人の母子の医療環境改善に資する。                                                         |
| 供与品目     | 医療用ベッド(当初計画82台／実績63台)及び医療用モニター(当初計画無し／実績1台)                                               |
| 視察者      | 佐藤、番場、外務省 開発協力総括課2名                                                                       |
| 受入側      | 院長、副院長、戦略計画部長、産科部長、看護部長、ケア・ペルー 担当者                                                        |
| 調査項目     | 供与機材の使用状況、病院視察、関係者からの聞き取り                                                                 |



## 案件②アルシデス・サロモン・ソリーリヤ職業訓練施設機材整備

|          |                                                                                                     |
|----------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 被供与団体名   | 全国身体障がい者統合審議会                                                                                       |
| 供与額      | 78,186米ドル(7,349,484円)                                                                               |
| 贈与契約締結日  | 2010年10月7日                                                                                          |
| 完了報告書提出日 | 2012年2月20日                                                                                          |
| 案件内容     | リマ州カリヤオ憲法特別市ベリャビスタ区において、障がい者が自立した生活を実現するため、職業訓練施設に縫製、製靴、製菓・製パン、製材機材、PC等の訓練機材を供与する。                  |
| 裨益効果     | 本事業の実施により、年間約600名の受講生が市場ニーズに合った適切な職業訓練を受けることができるようになる。また、申請団体による就職斡旋を経て、受講生は訓練終了後に就職の機会を得ることが可能となる。 |
| 供与品目     | ミシン、陳列棚、圧着機、靴の型枠、圧延機、スライサー、電子計量器、調理台、冷凍庫、オーブン、カットソー、ドリリング、コンプレッサー、施盤、テーブル式帯鋸                        |
| 視察者      | 佐藤、番場、外務省 開発協力総括課2名                                                                                 |
| 受入側      | 職業訓練施設代表、PC・製靴・大工・縫製・農芸クラスの各講師                                                                      |
| 調査項目     | 供与機材の使用状況、職業訓練施設視察、関係者からの聞き取り                                                                       |



| 案件③アルガロビナ加工機材整備（一村一品支援） |                                                                                                                                           |  |
|-------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------|
| 被供与団体名                  | 女性と子どもの調査・振興センター                                                                                                                          |                                                                                    |
| 供与額                     | 91,366米ドル（7,400,646円）                                                                                                                     |                                                                                    |
| 贈与契約締結日                 | 2013年2月15日                                                                                                                                |                                                                                    |
| 完了報告書提出日                | （現在作成中とのこと）                                                                                                                               |                                                                                    |
| 案件内容                    | 北部海岸地域の貧困集落であるピウラ州タンボグランデ市サン・フアン・バウティスタ・デ・ロクト集落において、収入向上を目指して実施している一村一品計画推進のため、アルガロビナ（シロップ）加工機材供与、加工技術向上・販売能力向上のための研修を実施する。               |                                                                                    |
| 裨益効果                    | 本事業の実施により、安定した品質でアルガロビナ製品（アルガロビナシロップやコーヒー、アルガロビナを使用したキャラメル等）を大量生産することが可能になり、生産・加工グループに所属している34世帯（約170名）の月平均世帯収入が増加し、生活環境の改善につながることを期待できる。 |                                                                                    |
| 供与品目                    | アルガロビナ洗浄機、選別用作業台、業務用釜、圧搾機、保存用タンク、移送用ポンプ、乾燥機、集塵機、掃除装置、搬送用台車、重量計、外輪鍋、屈折温度計、寸胴鍋、鉄製ざる、及び講習会費用。                                                |                                                                                    |
| 視察者                     | 佐藤、番場、外務省 開発協力総括課1名                                                                                                                       |                                                                                    |
| 受入側                     | 被供与団体代表、団体メンバー、生産・加工グループメンバー                                                                                                              |                                                                                    |
| 調査項目                    | 加工工場施設視察、関係者からの聞き取り、供与機材の状況、                                                                                                              |                                                                                    |

# 案件④ピウラ州ラグナス集落小学校整備計画

|          |                                                                               |
|----------|-------------------------------------------------------------------------------|
| 被供与団体名   | サピジカ町役場                                                                       |
| 供与額      | 109,992米ドル(8,909,352円)                                                        |
| 贈与契約締結日  | 2013年2月5日                                                                     |
| 完了報告書提出日 | (未提出)                                                                         |
| 案件内容     | ペルー北部山岳地域の貧困地域において、倒壊のリスクの高い小学校の校舎を建て替える。                                     |
| 裨益効果     | 当該小学校に在籍する約100名の児童・教員の学習・教育環境改善に資する。また将来当校に通学することになる児童に対しても適切な教育環境を提供することになる。 |
| 供与品目     | 既存の2教室を取り壊し、新たに3教室計159.36㎡を整備する。                                              |
| 視察者      | 佐藤、番場、外務省 開発協力総括課1名                                                           |
| 受入側      | サピジカ町長、小学校校長、PTA会長、                                                           |
| 調査項目     | 小学校の校舎建設状況の確認、小学校の視察、関係者からの聞き取り                                               |



## 案件⑤ピウラ州マタンサ小学校整備計画

|          |                                                                |
|----------|----------------------------------------------------------------|
| 被供与団体名   | マタンサ町役場                                                        |
| 供与額      | 96,353米ドル(9,924,359円)                                          |
| 贈与契約締結日  | 2010年3月8日                                                      |
| 完了報告書提出日 | 2010年10月27日                                                    |
| 案件内容     | ペルー北部海外地域において老朽化した小学校の校舎を建て替える。                                |
| 裨益効果     | 最貧困地域にある当該学校に在籍する465名の児童及び教師19名の学習環境・衛生環境の改善に資する。              |
| 供与品目     | 小学校の2教室各51.15㎡を建て替え、職員室73.92㎡、男女トイレ(ユニバーサルアクセス)92.82㎡を新たに建設する。 |
| 視察者      | 佐藤、番場、外務省 開発協力総括課1名                                            |
| 受入側      | マタンサ町長、小学校校長、PTA会長、保護者、子どもたち                                   |
| 調査項目     | 小学校の校舎建設状況の確認、小学校の視察、関係者からの聞き取り                                |



## 提言（詳細は報告書参照のこと）

- ソフトコンポーネントの拡充（ハード＋ソフトの重要性、子ども参加など受益者の巻き込み、中長期的な効果発現の可能性・質の向上、持続性、自立発展性の醸成など）
- 有機的な支援体制に向けて（年度を越えた資金供与、実施団体によるモニタリング費用拡充、他ODAスキームと連携した取組み）
- 情報公開（より充実したODAサイトへの掲載＝アカウンタビリティの向上、理解促進）
- 中進国における今後の支援のあり方

